

令和 3 年度 事業 報告

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

1 事業の成果

当サービスセンターも、「一般財団法人」としての活動が 9 年となりました。会員の皆さま、評議員、理事、監事の皆様のご協力のもと、掛川市、御前崎市、菊川市の中小企業で働く勤労者や事業主の皆様の福利厚生事業の推進に努めてまいりました。

令和 3 年度も皆様からの会費及び 3 市からの負担金等により、引き続きコロナ禍という厳しい社会情勢の中ではありましたが、各種事業・サービスが提供できましたことをまずご報告いたします。

2 法人事業の実施状況

将来を見据えた持続可能な事業実施、加入事業所・会員の皆さまの様々なニーズにお応えできる福利厚生サービスの提供、経営推進をするため策定した「OK！ワーク経営推進計画」をもとに事業を実施いたしました。

また、最新でわかりやすい情報提供をするため、スマホにも対応した OK！ワークホームページを活用いたしました。

3 事業の実施状況

(1) 健康維持増進支援事業 (定款第 4 条第 1 項第 1 号)

健康維持増進支援では、人間ドックの補助事業は 1,379 人から申請があり、金額で 9,653 千円を補助し、インフルエンザの予防接種補助事業では 1,621 人から申請があり 1,621 千円を補助いたしました。

例年行っていた OK！ワークボウリング大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防を鑑み、割引券という形で 34 人の方にご利用いただきました。

(2) 余暇活動を支援するための事業 (定款第 4 条第 1 項第 2 号)

余暇活動支援では、好評のご家族で自由に利用できるチケット等の斡旋で、ジェフグルメカード 918 組、お食事券等 448 枚、シネマチケット 1,717 枚、その他コンサートチケット等 2,850 枚、物資斡旋 8 事業に 731 人の参加と、社会情勢に対応するために商品券斡旋事業等を厚くして、多くの方々にご利用をいただきました。

施設利用補助金では、38 施設に延べ 8,550 人のご利用をいただき 3,860,490 円の補助をいたしました。

宿泊補助事業等では、富士山静岡空港利用者と併せて 431 人からの申請がありました。

(3) 自己啓発を支援するための事業（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

自己啓発支援のための教室開催では、ボトルアクアリウムに 31 人など、11 教室を企画し、168 人の参加をいただきました。今後も話題性に富んだ魅力ある教室を企画いたします。

(4) 財産形成に係る事業（定款第 4 条第 1 項第 4 号）

財産形成に係る事業では、静岡県労働金庫融資時の一般財団法人静岡県勤労者信用基金協会と信用保証会社㈱セディナ利用分の信用保証料補助を実施しています。

(5) 老後の生活を図るための事業（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

老後生活安定事業での退職金共済掛金補助を実施していますが、利用が少なく、今後も PR に努めます。

また、(一財)静岡県年金福祉協会主催の年金セミナーに協賛し、11 人の受講がありました。

(6) 生活の安定を支援するために必要な事業（定款第 4 条第 1 項第 6 号）

共済給付金として、全労済協会から 11,374,000 円、OK!ワーク単独給付として 9,620,000 円を給付いたしました。

(7) その他目的達成に必要な事業（定款第 4 条第 1 項第 7 号）

調査研究及び情報提供事業として、年 6 回の会報の発行、ガイドブックを配布いたしました。

こうした事業展開の中、会員事業所数は 21 事業所の減、会員数でも 143 人の減となりました。これは、会員の高齢化とコロナ禍をきっかけとする事業所の廃業も一因と考えております。

今後とも、会員の皆様のご意見・ご要望もお聞きし、社会情勢に対応した多くの会員の皆様にご参加いただける事業を企画いたします。

そのために事業内容の精査、研究をするとともに、掛川市、御前崎市及び菊川市をはじめ関係各位のご協力をいただき、会員の皆様にとって有益な福利厚生事業となりますように連携を取りながら事業を推進してまいります。